

Deloitte.

デロイト トーマツ



L2-Tech

2020年度L2-Tech認証 説明会

認証申請手続き説明資料

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

2020年12月



**MAKING AN
IMPACT THAT
MATTERS**

since 1845

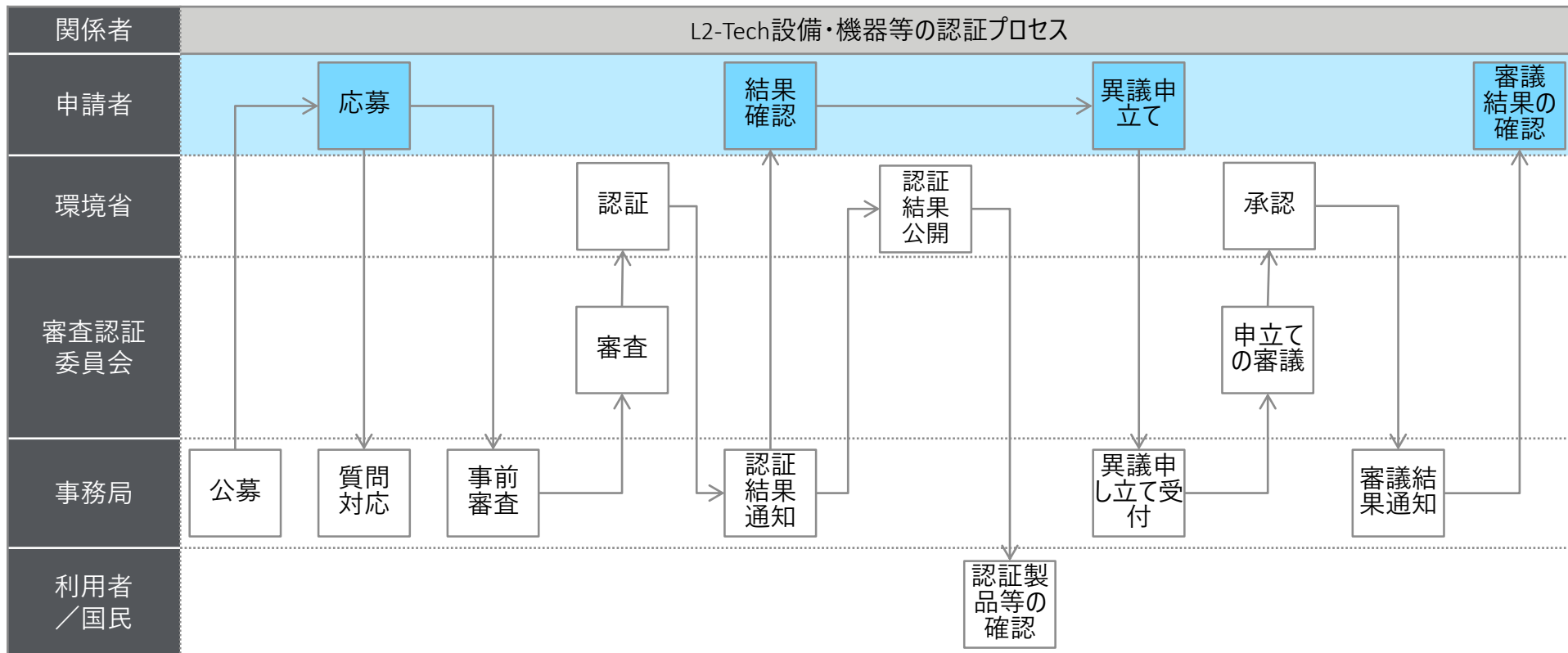
1. 2020年度L2-Tech認証制度の概要
2. 認証申請手続きについて

1. 2020年度L2-Tech認証の概要

2020年度L2-Tech認証の実施概要

募集期間	令和2年（2020年）12月21日（月）から令和3年（2021年）1月22日（金）17時まで
募集対象製品・事業者	<p>（対象製品）</p> <ul style="list-style-type: none">① L2-Tech水準表に掲載されている設備・機器等に該当する製品② 発売済または令和3年（2021年）3月5日までに発売予定の製品③ 国内で製造または販売している製品 <p>（対象事業者）</p> <p>対象設備・機器等を製造または販売している日本法人</p>
審査項目	<ul style="list-style-type: none">① 募集対象製品であること。② 技術の原理・しくみが科学的に説明可能であること。③ 申請された製品の性能が、「L2-Tech水準」と一致している、または「L2-Tech水準」よりも優れていること。④ 申請された製品の性能が、L2-Tech水準表に記載されている計算方法、および試験条件に準拠して算出されたものであること。

L2-Tech認証プロセスの概要



2. 認証申請手続について

2-1. 申請方式等について

2-2. 各種申請資料の作成

2-3. 各種確認資料の作成

2-1. 申請方式等について

2-2. 各種申請資料の作成

2-3. 各種確認資料の作成

今年度の申請手続きは、プラットフォームを介せず、製品情報を所定のフォームに入力し、E-mailにてご提出ください

今年度の認証申請手続きにおけるポイント

1

製品情報は様式2申請製品リスト（Excel）に入力してください

申請者は所定のExcelフォームに製品情報を入力してください。今年度はL2-Tech情報プラットフォームでの製品情報の登録は行いません。

2

申請資料および確認資料は事務局メールアドレスにお送りください

今年度はL2-Tech情報プラットフォームを通じた提出は行わず、事務局に申請資料・確認資料一式を電子メールで送付してください。

申請内容は、「通常申請」および「簡易申請」の2種類があります

通常申請と簡易申請

	通常申請	簡易申請
概要	申請資料・確認資料すべてを提出する申請 ■ 簡易申請に該当しない型番すべてが対象	申請予定の製品が、簡易申請の3要件を満たす場合に、提出必要書類の一部が免除される申請
		簡易申請の3要件は 次頁参照
提出を求める申請資料	<ul style="list-style-type: none">■ 申請書(様式1)■ 申請製品リスト(様式2)■ 申請用チェックリスト(様式3)■ 商用化に関する誓約書(別紙1)■ 計算方法・試験条件に関する誓約書(別紙2)■ 派生型番に関する誓約書(別紙3)	<ul style="list-style-type: none">■ 申請書(様式1)■ 申請製品リスト(様式2)■ 申請用チェックリスト(様式3)■ 派生型番に関する誓約書(別紙3)※
提出を求める確認資料	<ul style="list-style-type: none">■ 商用化確認資料■ 性能確認資料■ 原理・しくみ確認資料	(提出は免除)
備考		※親型番が親型番が簡易申請対象製品である場合で、派生型番を今年度新規に申請する場合のみ提出

3要件をすべて満たす製品であれば、簡易申請の対象とし、提出必要書類の一部のご提出が不要となります

簡易申請について

【簡易申請 3要件】

①前年度のL2-Tech認証製品一覧（最新版）に掲載されている製品（型番）であること

今回申請を行う製品の型番が、「2019年度L2-Tech認証製品一覧 Ver.1.03（親・派生 全型番表示）」に掲載されていること。

②申請するクラス・指標に変更がないこと

今回申請を行う製品が該当する、「2020年度L2-Tech水準表」中のクラス（水準表情報No.S-XXXXXX）について、該当のクラス（条件・能力）および指標（測定単位）が「2019年度L2-Tech水準表」から変更がないこと。

③申請する製品の性能がL2-Tech水準と一致あるいは優れていること

今回申請を行う製品が該当する、「2020年度L2-Tech水準表」中のクラス（水準表情報No.S-XXXXXX）のL2-Tech水準と比較し、該当製品の性能が一致または優れていること。

注意

L2-Tech水準表の「認証対象」にて「通常または簡易」あるいは「●」と表示されていても、申請者の登録製品が簡易申請の要件を満たさない場合は、通常申請となります。

水準表で簡易申請対象クラスかどうかを確認できます
簡易申請の対象クラスには、
認証対象欄に「●（黒丸）」が記載されています

クラス			認証対象	L2-Tech水準表情報No.	L2-Tech水準
条件	クラス能力(単位)	クラス能力(名称)			
-	相当馬力数	7.5HP以下	●	S-001778	1.19

提出が必要な資料として、「申請資料」と「確認資料」の大きく2種類があります

提出書類一覧

区分	提出書類		通常申請	簡易申請*3
	名称	概要		
申請資料 *1	【様式1】申請書	L2-Tech認証に係る実施規則、実施要領に基づき申請されることをご誓約いただくための資料	必須	必須
	【様式2】申請製品リスト	製品情報をご登録いただくシート	必須	必須
	【様式3】申請用チェックリスト	申請お手続きにあたり、書類のご提出漏れ等を防ぐためのチェックシート	必須	必須
	【別紙1】商用化に関する誓約書	以下、商用化確認資料が提出できない場合に、商用化に関しご誓約いただくための資料	適宜	不要
	【別紙2】計算方法・試験条件に関する誓約書	以下、性能確認資料にて、性能の計算方法・試験条件が確認できない場合、L2-Tech水準表との合致をご誓約いただくための資料	適宜	不要
	【別紙3】派生型番に関する誓約書	申請製品のうち親型番・派生型番*4の関係にある製品がある場合、その旨をご誓約いただくための資料	適宜	適宜
確認資料 *2	商用化確認資料	発売済であることまたは令和3年(2021年)2月28日までに発売予定の製品であることが分かる資料	必須	不要
	性能確認資料	性能の計算方法、および試験条件がL2-Tech水準表と一致し、また性能が水準以上であることが分かる資料	必須	不要
	原理・しくみ確認資料	L2-Tech水準表に記載されている「原理・しくみ」に合致することが分かる資料	必須	不要

※「申請資料」は申請者さまごとに1セット、「確認資料」は親型番ごとに1セットご提出が必要です。

*1 申請資料：ご申請のためにご提出が必要な本制度の独自フォーマット資料

*2 確認資料：申請製品が認証のための審査項目を満たしていることを確認するためのエビデンス資料（例：製品カタログ等）

確認資料ご提出にあたっての留意事項

① 原則、公表情報であること（Web公開資料）であること

： ご提出いただく確認資料は原則、申請者さまのWebページにて広く公開され、一般に誰でも確認ができる資料であることとします。

※ 但し「性能確認資料」については、L2-Tech水準表の「L2-Tech水準」に“*（アスタリスク）”が付与されているクラスのみ、WEB公開資料に代わり、試験結果報告書等の非公開資料のご提出も受け付けます。

※ 公開資料が存在しない場合は、適当と認められた場合に限り、代替資料を確認資料として受付いたしますので、個別に事務局までお問い合わせください。（別途誓約書の提出が必要）

② 原則、型番ごとに情報の確認が可能な資料を提出すること

※ 同一資料にて複数の型番の情報が確認できる場合は、当該資料を複数型番に関する確認資料としてまとめることが可能です。

※ 複数製品（型番）が同一クラス・同一性能で親型番・派生型番の関係にあり、「別紙3 派生型番に関する誓約書」の提出をもってその旨をご誓約いただける場合は、親型番分の確認資料のご提出で申請いただくことが可能です。

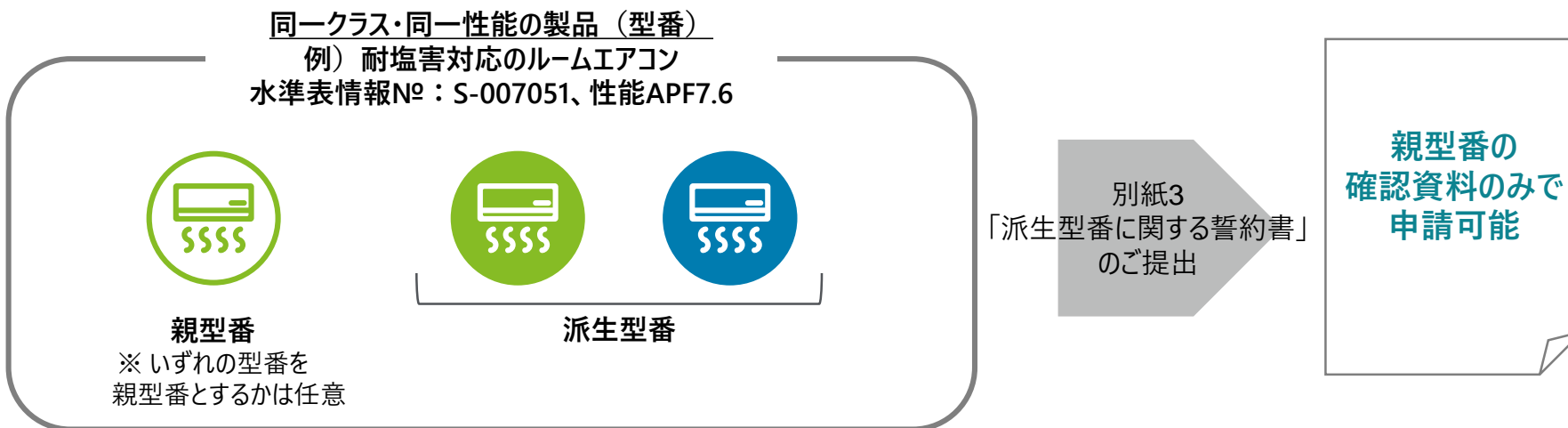
※ 一製品について、同一資料で商用化や性能等の複数の内容を確認できる場合は、「商用化確認資料」「性能確認資料」「原理・しくみ確認資料」を兼ねることが可能です。

L2-Tech水準表上の同一クラスでかつ同一性能の製品は親型番・派生型番の関係とし、提出必要書類を一通にまとめることが可能です

親型番・派生型番について

親型番・派生型番とは	別紙3「派生型番に関する誓約書」の提出に基づき、L2-Tech水準表上の同一クラスでかつ同一性能の関係にあると認められる複数製品を指す。 該当する製品は、提出必要書類をまとめることが可能。（親型番分のみ提出で認証申請が可能） （該当例：色違いの製品 等）
親型番	任意の1製品（型番）
派生型番	親型番以外の該当製品（型番）

親型番・派生型番イメージ



性能確認資料として試験結果報告書が使用可能であることを示す「*（アスタリスク）」は、水準表のL2-Tech水準の欄で確認できます

L2-Tech水準のアスタリスクについて



L2-Tech水準の後に「*」がついている場合は、性能確認資料として試験結果報告書を使用できます

クラス			認証対象	L2-Tech水準表情報No.	L2-Tech水準
条件	クラス能力(単位)	クラス能力(名称)			
-	冷却能力	200RT未満	●	S-001855	7.36 *

2-1. 申請方式等について

2-2. 各種申請資料の作成

2-3. 各種確認資料の作成

様式1は、今回の申請内容に関する概要を記入し、さらに代表権を有する者の記名及び押印を行い、PDF形式にて提出してください

様式1 作成ガイド

資料3より抜粋

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

様式1

年 月 日

環境省

地球温暖化対策事業室長 殿

(住所)

(会社名)

(代表者名)

代表権を有する者（主に代表取締役）の名前及び押印

デロイト
株式会
社代表
取締役
松本
太郎
等

2020年度L2-Tech認証 申請書

「2020年度L2-Tech認証実施要領」に基づき、下記のとおり申請いたします。
なお、上記実施要領及び「L2-Tech認証制度 実施規則」の内容を確認のうえ、これに従うことを誓約いたします。

記

総申請件数:	373	[型番]
(以下、内訳)		
-通常申請による親型番の申請件数:	16	[型番]
-通常申請による派生型番の申請件数:	165	[型番]
-簡易申請による親型番の申請件数:	17	[型番]
-簡易申請による派生型番の申請件数:	175	[型番]

申請件数は申請者ご自身でカウントし、様式1の該当欄に入力してください

以上

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（1/3）

資料3より抜粋

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
1	L2-Tech水準表情報No.	必須	水準表に記載されたL2-Tech水準表情報No.を必ず入力してください。	S-001774
2	団体名	必須	社名等を入力してください（部署までは不要）	
3	製品名	必須	申請製品の製品名を必ず入力してください。	ガスヒートポンプαシリーズ
4	型番	必須	申請製品の型番を必ず入力してください。 ※項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、申請数が多くなる際は「A00-001～A99-999」や「A-(X/Y/Z)-(100/200/300/400/500)」等、まとめて入力することを可能とする。	A-450α
5	申請方式 親/派生	必須	申請方式を必ず選択してください。 ※「派生」は、水準表のクラス、下記「性能（値）」が既出の型番（「親」と一致するものを指す。 ※「派生」を選択した場合、別紙3を提出すること（ただし、項目「申請方式 通常/簡易」が「簡易」で、前回認証された型番であれば不要）。	親
6	申請方式 通常/簡易	必須	申請方式を必ず選択してください。 ※水準表の認証対象欄に「●」と表示されているクラスに申請する場合、申請する製品が簡易申請の要件をすべて満たさない場合は、「通常」となります。	通常
7	親型番	必須 ^{*1}	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、 <u>親型番を1種類決め</u> <u>たうえで、その型番を必ず入力</u> してください。	
8	派生型番	必須 ^{*1}	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、「型番（「親型番」ではなく「型番）」と同じ内容を必ず入力してください。	
9	派生型番の理由	必須 ^{*1}	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、色違い等、派生型番である理由を必ず入力してください。	

*1: 派生型番を申請する場合

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（2/3）

資料3より抜粋

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
10	計算方法 準拠する規格	必須	性能（値）の計算に当たって準拠した規格の名称を必ず入力してください。	JISB8627:2015
11	試験条件 準拠する規格	必須	性能試験の実施に当たって準拠した規格の名称を必ず入力してください。	JISB8627:2015
12	商用化確認資料 ファイルNo.	必須*2	商用化確認資料のファイルNo.を「商用No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出可能な際は、「商用No.（半角数字）_性能No.（半角数字）」と記載する事	商用1
13	商用化確認資料URL	必須*2	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.XXX
14	性能（値）	必須	上記「性能確認資料」に記載された、製品の性能を示す数値（カタログ値）を必ず入力してください。	1.39
15	性能確認資料 ファイルNo.	必須*3	性能確認資料のファイルNo.を「性能No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出可能な際は、「商用No.（半角数字）_性能No.（半角数字）」と記載すること	性能1
16	性能確認資料URL	必須*4	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.OOO
17	原理・しくみ確認資料 ファイルNo.	必須*5	原理・しくみ確認資料のファイルNo.を「原理No.（半角数字）」と入力してください。その際、提出するファイル名も同様にしてください。	原理1
18	原理・しくみ確認資料 URL	必須*5	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、事務局に相談すること。	http://www.---

*2：商用化確認資料を提出する場合、*3：性能確認資料を提出する場合

*4：性能確認資料（試験結果報告書を除くカタログ等）を提出する場合、*5：原理・しくみ確認資料を提出する場合

申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください

様式2 申請製品リストへの入力項目（3/3）

資料3より抜粋

	入力項目	必須/任意	説明	入力例
19	製品の特徴	必須	認証された場合、 <u>認証製品一覧の情報として公表される製品の特徴を原則200文字以内</u> で必ず入力してください。	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品はXXXにより、環境負荷の削減を実現している。
20	問合せ先 部署	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の部署名を必ず入力してください。	お客様サポート室
21	問合せ先 担当者	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の担当者名を必ず入力してください。	お客様サポート担当
22	問合せ先 電話番号	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の電話番号を半角、"- "入りで必ず入力してください。	03-6867-****
23	問合せ先 E-mail	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先のE-mailアドレスを必ず入力してください。	support@****.co.jp
24	問合せ先 URL	必須	申請製品が紹介されているホームページのURLを必ず入力してください。	http://www.****

別紙2は性能確認資料にL2-Tech水準表に記載されている同一の計算方法が確認できない場合に提出を求めます。ファイルはEXCEL形式で提出してください

別紙2 作成ガイド

資料3より抜粋

別紙2

年 月 日

EXCEL形式で提出してください (PDFは不可)

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

2020年度L2-Tech認証 計算方法・試験条件に関する誓約書

記入欄は必要に応じて追加してください

下記の通り誓約いたします。

■評価方法(計算方法)

以下の型番については、下表の評価方法に準じた計算方法に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450α、A-450β	JISB8627:2015

性能確認資料にL2-Tech水準表と同一の計算方法が記載されていない(年度も含む)場合に記入

規格は年度まで正確に記入する

■評価方法(試験条件)

以下の型番については、下表の評価方法に準じた試験条件に従って性能を算出しています。

型番	規格
A-450α、A-450β	JISB8627:2015

別紙3は申請内容に派生型番が含まれる場合に提出を求めます。ファイルはEXCEL形式で提出してください

別紙3 作成ガイド

資料3より抜粋

別紙3

EXCEL形式で提出してください（PDFは不可）

英数字および記号に関しては、必ず半角で記載すること

記入欄は必要に応じて追加してください

2020年度L2-Tech認証 派生型番に関する誓約書

下記の通り誓約いたします。

既に各種資料が提出された親型番とクラス・性能が一致するものを「派生型番」とし、ここで親と派生の関係にあることを証明する

以下の型番については、下表のとおり親型番と派生型番の関係にあります。

親型番は任意の1型番をご指定下さい

親型番	派生型番	理由
A-450α	A-450β	
A-450α	A-450γ	

派生型番は、その理由も同一の場合、A-450(β)(γ) 等とまとめて表示いただくことも可能です
※前回認証製品の場合は、前回と同一の表記（半英数字ハイフンの有無・位置など）としてください

- 2-1. 申請方式等について
- 2-2. 各種申請資料の作成
- 2-3. 各種確認資料の作成**

商用化確認資料は、今回申請するすべて型番が判読できるようにマークを付けた上で提出してください

商用化確認資料 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

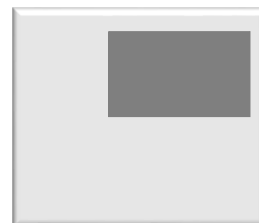
αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
増害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別		A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
		45.0	71.0	85.0
		50.0	80.0	
APFP 期間 成績係数	1.59	1.87	2.00	
法定 冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	9.56

提出ができない場合、別紙1にて
商用化確認を行う必要あり

該当する型番にカラーペン等でマークしてください
(申請製品リストに入力されている型番と、
本資料に記載の型番と完全に一致しない場合、
商用化確認資料としては認められない。
再提出を依頼する場合があります)

複数の型番を申請する際、
商用化確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです
(注2) APFPはJISB8627:2015条件により算出された値です



性能確認資料も申請する型番に該当するクラス（条件、能力）、性能値、試験条件、計算方法等を示す箇所にマークを付けてください

性能確認資料（カタログの場合） 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に一致しない場合、性能確認資料として認められない)

今回申請する、
該当のクラス（条件、能力）にマーク

今回申請する、
該当の性能にマーク

複数の型番を申請する際、
性能確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする
(ただし、型番と性能の紐づけがわかるように記載する)

今回申請する、
該当の計算・試験条件にマーク
(L2-Tech水準表と同一の条件が記載されていない場合
(年度も含む)、別紙2にて誓約を行う必要あり)

αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
塩害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別仕様	A-280 γ	A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
冷房能力 (kW)	28.0	45.0	71.0	
暖房能力 (kW)	31.5	50.0	80.0	
APFp 期間成績係数	1.59	1.87	2.08	
法定冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	

(注1) 上記の試験はJISB8827:2015条件にて運転したものです
(注2) APFpはJISB8827:2015条件により算出された値です



シリーズ史上最高の
環境性能・低環境負荷
αシリーズ

試験結果報告書等においても、申請する型番に該当するクラス（条件、能力）、性能値、試験条件、計算方法等を示す箇所にマークを付けてください

性能確認資料（試験結果報告書の場合） 作成ガイド

マークは蛍光ペン等、手書き可

2018年7月1日
デロイトトーマツ
コンサルティング合同会社
品質管理課 課長
丸ノ内太郎

品質管理担当者等
の名前または押印

試験結果報告書

試験日 2018年6月1日
製品名 αシリーズ
型番 **A-PR100**

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に一致しない場合、性能確認資料として認められない)

試験項目	単位	設計仕様	測定値	適用規格
冷水入口温度	°C	15.0	15.1	JISB8622:2009
冷水出口温度	°C	7.0	7.2	
冷水流量	L/min	630	631	
冷水圧力損失	kPa	60.0	60.2	
冷却水入口温度	°C	32.0	32	
冷却水出口温度	°C	40.0	40.1	
冷却水流量	L/min	1,080	1,079	
冷却水圧力損失	kPa	60.0	59.9	
加熱源消費量	kW	270	270	
冷凍能力	kW	352	352 (100RT)	
COP成績係数	-	1.36	1.36	

該当のクラス（条件、能力）を
いる箇所にマーク
(単位はL2-Tech水準表に揃えたものを記載)

今回申請する、
該当の性能にマーク

該当する計算方法・試験条件を
示している箇所にマーク
(L2-Tech水準表と同一の条件が記載されていない場合（年度も含む）、別紙2にて誓約を行う必要あり)

※COPの算出方法は、JISB8622:2009による